

滝川駅周辺地区再生整備基本構想（原案）における パブリックコメントの実施結果について

- 1 募集期間
令和6年2月13日（火）～令和6年2月29日（木）まで
- 2 募集場所
滝川市役所 1階 お知らせコーナー（らせん階段下スペース）
滝川市役所 2階 図書館入口付近
滝川市役所 6階 駅周辺整備課カウンター
江部乙支所（農村環境改善センター）
東滝川地区転作研修センター
滝川市公式ホームページ
- 3 募集周知
令和6年2月9日（金）広報メモ送付（プレスリリース）/市公式ホームページ掲載
令和6年2月28日（水）FM G' Sky出演
- 4 意見提出者数
15名（うち、市内在住者 13名 市外在住者 2名）
- 5 意見要旨数
66件
- 6 意見要旨と今後の対応について
別紙のとおり

別紙 パブリックコメントにおける意見要旨と今後の対応について

意見を踏まえた今後の対応等		意見要旨数
① 基本構想に反映するもの		4 件
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・身の丈にあった整備が進められることを願う。 ・事業実施に向けて、積極的に市民との対話を多く実施するべき。 ・様々な立場の人を集めた準備会のような組織を作って検討をしていくのが良い。 ・学生や若い世代の意見を取り入れるべき。 	
② 今後の基本計画策定等において参考とするもの		53 件
主な意見	<p><基本構想全般> 2 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再開発を通じて滝川に定着する若年層の増加を期待したい。 ・利用者のニーズに沿った「利用される施設」を願う。 <p><将来ビジョン> 2 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中核都市 滝川市の機能がどうあるべきか、なぜ若者が流出し続けるのか、そういった想定が必要。 ・高齢者に寄り添った視点も示してほしい。 <p><整備地区に関する事項> 6 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院・診療所（産科）の機能については、駅周辺でなくてもよい。 ・昨今の情勢を踏まえ、スーパーマーケット、高齢者施設、運動施設は本当に必要があるのか考えるべき。 ・空き店舗の活用策として、地域団体に対する貸しスペースとしての利用がよいのでは。 <p><再生拠点に関する事項></p> <p>ア 拠点形成の基本的な考え方 3 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下歩道を再整備すべき ・栄通を廃止若しくは形状を変更し、横断による事故の危険性を回避すべき。 <p>イ（仮称）駅前交流施設 交流機能 6 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外スペースは良いが、屋内にも休憩スペースがあったほうが良い。 ・ロビーは天井を高く、文化祭を一か所で開催できるよう計画してほしい。 ・屋外広場は冬季間の制約があるので、屋内広場を広く設けたほうが良い。 ・会議室やスタジオ等については、ベルロード周辺一帯の既存施設との機能分担を検討したほうが良い。 ・施設をガラス張りにして、駅前との一体感を創ることが必要。 <p>ウ（仮称）駅前交流施設 文化機能 9 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小ホール（多機能・多目的）、小規模なイベントホールが必要。 ・子供から大人が利用できるホールが良い。 ・利用者のニーズに応じたホールを望む。 ・リーズナブルな料金設定の小ホール併設が望ましい。 ・洪水のハザードマップで浸水地域に該当するため、ホールは2階以上が望ましい。 ・大ホールは規模 800 席程度、小ホールは規模 200 席程度が良い。 <p>エ（仮称）駅前交流施設 教育文化機能 2 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧トピア、旧小林ビルに教育文化機能を集約したほうが良い。 ・展示室の設置を希望。 <p>オ（仮称）駅前交流施設 娯楽機能 3 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内遊戯施設の遊具は最低限でよいが、有人の施設として検討してほしい。 ・授乳室の設置を希望。 ・ボウリング場の再開を希望 	

	<p>カ (仮称) 駅前交流施設 健康機能 3 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツジムは必要な機能と思えない。 ・スポーツジムは滝の川スポーツセンターエリアに集約し、駅周辺地区には不要。 <p>キ (仮称) 駅前交流施設 商業機能 6 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニの設置を希望。 ・通学、通勤者が利用するカフェの設置を希望。 <p>ク (仮称) 駅前交流施設 その他 5 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元たきかわの歴史を感じることができる施設を希望。 ・低コストで実現できる整備アイデアを募ることが必要。 ・限られたスペースのため、導入機能を交流と文化に絞ったほうが良い。 ・コインロッカーの設置を希望。 ・障がい者視点を盛り込んだ整備としてほしい。 <p>ケ (仮称) 駅前市民駐車場 1 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと駐車台数を増やすべき。 <p>コ 旧トピアビル整備 3 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よほど魅力と集客力がなければ小売店等は厳しい。コンビニが望ましい。 ・ビジネスホテルの誘致が良いと思う。 ・会議室やスタジオ、練習室等の設置を希望。 <p>サ 事業手法 2 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業手法は公設民営、施設整備や運営に関しても精通者(専門家)の登用が必要。 ・事業手法については、エージェント型 PPP 手法に関する検討が必要。 	
	③ 基本構想に反映しなかったもの(質疑、その他の意見等)	9 件
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・防災視点上、積極的に居住を推進する地区なのか。 ・「第3の居場所」ではなく、「第1の居場所」としての機能を期待し、駅前にホール機能を組み込んだ高校をメインとする整備を提案する。また、その事業手法については、DBO、PFI が望ましい。 ・ポケットパークがわからない。 ・美術自然史館の機能を移転するのか。中途半端な移転はしないほうが良い。 ・市議会議員との意見交換、交流の機会があると良い。 ・美術自然史館を存続し、駅前整備と連携して取り組んではどうか。 ・駅前を路線バスのバス停として位置づけを変更してはどうか。 ・人手不足等もあり、交通機能の活性化は難しいと思うがどのような見通しか。 ・スポーツセンター周辺を健康増進エリアにしてはどうか。 	

No.	構想（原案） 該当箇所	件数	意見要旨 ※一部原文より修正	要点	意見を踏まえた今後の対応等
① 基本構想に反映するもの 4件					
1	基本構想全般	4件	<p>使われるのは補助金を含め税金です。これから人口減少に向かいます。資料の中の言葉にもあるように、将来に負担を先送りすることなく、身の丈にあった整備が進められることを願っています。</p>	<p>・身の丈にあった整備が進められることを願う。</p>	<p>・基本構想原案にも追記する中で、今後の計画策定等を進めてまいります。</p>
2			<p>この基本構想は、市役所内の各部署と協議・調整がどのようにされているのかをお聞きしたい。たとえば、文化機能は教育委員会（社会教育課）と十分にすり合わせができていないのか。各分野の所管では、それらの人たちの現状やニーズはある程度把握しているはず。私たちも社会教育課とアンケートへの回答や話し合いしている経過がある。それらは周知・検討されているのでしょうか。</p> <p>この基本構想は、“日常的な賑わいを創出する”や“各世代にとって第3の居場所にする”などを主たる目標に掲げていますが、全体的にみてどうもイメージがわかりません。</p> <p>ワークショップなどでよくやる手法に、グループに分かれ、大きな付せん紙に各々が思ったことを書いてホワイトボードに貼り付けるという方法がありますが、この基本構想は付せん紙を貼り付けた段階で止った状態、ワークショップにたとえると、ファシリテーターがボードいっぱい貼られた付せん紙を見て考えが定まらず、右往左往している状態に思えます。</p> <p>前記を受けて、とても重要なことであたり前のことですが、市民（使う側の人たち）との直接対話を多くして声を聞いてほしいということです。</p> <p>市役所は一般市民にとっては敷居が高く、心に思っていることがあっても出向いてまで話に行く人は少ないと思います。待っているのではなく、市側から埋もれている団体やサークルを掘り起こし、その輪の中に入って話を聞いてほしいです。市民と直にディスカッションすることにより信頼関係も育まれ、また、難題を打開するヒントやアイデアも生まれるなど、机上の業務だけでは得られない効果もあるのではないのでしょうか。近隣のある施設では、この点にかなりの時間と手間をかけたと聞いています。市民の側が、話し尽くした、やり尽くしたと思えば、満足感とともに完成後に起きる不平不満も極力少なくなるはずですが、手間と労力のかかる大変な作業ですが、数十年に一度の大プロジェクトです。ぜひ実行してほしいです。</p>	<p>・基本構想の策定にあたって庁内各部署と連携がされているか。</p> <p>・事業実施に向けて、積極的に市民との対話を多く実施するべき。</p>	<p>・本構想については、市役所内の各部署を含め、関係各所との連携を図る中で検討を進めてまいりました。</p> <p>・今後、基本計画策定についても、幅広い市民の皆様をはじめ、関係各所との連携、協働で進めてまいります。</p>
3			<p>この先長く使われる施設を建てるに当たって、利用者や運営に携わる人の声が反映されるように、様々な立場の人を集めた準備会のような組織を作って構想を進めていくのが良いのではと考えます。</p> <p>現に砂川では現在の「地域交流センターゆう」を作るにあたって運営協議会準備会を立ち上げて、早くから市民運営を目指して計画を進め、10年が経過した今では文化の拠点をして、市民劇団や人形劇、キッズ落語、プラススタイル（ビッグバンド）などの団体もでき、子供から大人まで幅広い世代が集う場所になっています。</p>	<p>・様々な立場の人を集めた準備会のような組織を作って検討をしていくのが良い。</p>	<p>・基本計画の策定につきましては、文化、観光、商業など、市内各分野の団体で構成する「滝川市中心市街地活性化協議会」と連携しつつ、世代や団体毎によるワークショップの開催やホール機能に特化した有識者による検討のほか、パブリックコメントを実施する中で、幅広い意見をいただきながら市民との協働によって進めてまいります。</p>
4			<p>新しい文化施設を楽しみにしているのですが、予算のこともあるとは思いますが、100年以上使える施設になってほしいと思います。ハードよりもソフトの部分が重要かと…。</p> <p>是非、学生や20代30代の若い世代の意見を沢山聞いてほしい。自分が関わった施設には愛着がわくものです。文化施設への若い世代の関心が薄いと思われる。</p> <p>若い世代を中心にソフトを充実して、まちづくりをすすめてほしいです。近隣の新十津川はドローンやスマート農業、奈井江はずどーんなど、面白い取り組みをやっていてと思います。滝川市は中空知の中核として、面白い施設を作って欲しいです。</p>	<p>・100年以上は使える施設になってほしい。</p> <p>・学生や若い世代の意見を取り入れるべき。</p> <p>・若い世代を中心にソフトが充実したまちづくりを進めてほしい。</p>	<p>・基本計画の策定につきましては、文化、観光、商業など、市内各分野の団体で構成する「滝川市中心市街地活性化協議会」と連携しつつ、世代や団体毎によるワークショップの開催やホール機能に特化した有識者による検討のほか、パブリックコメントを実施する中で、幅広い意見をいただきながら市民との協働によって進めてまいります。</p>
② 今後の基本計画策定等において参考とするもの 53件					
5	基本構想全般	2件	<p>滝川駅は札幌・旭川どちらの方面にもアクセスしやすく、特急列車であれば乗車時間も1時間未満と短いため、駅前の再開発を通して、滝川市外（特に札幌や旭川）への通勤・通学の利便性がより高まることで、会社や大学は札幌や旭川ながらも、滝川に定着または移住する若年層の増加が見込まれるとなお良いのではないかと思います。滝川市民の中には、現時点で滝川駅や駅前商店街を利用しておらず、再開発への意義を見出せない方もいらっしゃると思います。そういった方にも駅前が再開発されてよかったと思っていただけるような、またはご利用いただけるような施設か店舗が何かあれば良いと思います。</p>	<p>・再開発を通じて滝川に定着する若年層の増加を期待したい。</p> <p>・再開発に意義を見出せない方にも喜ばれるような施設等があれば良い。</p>	<p>・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。</p>
6			<p>これから先少なくとも半世紀は使われることになることが想定される施設ですし、市としても一大プロジェクトになると思いますので、完成してみても利用しづらい施設になるよりは可能な限り利用者のニーズが反映された、市民の皆さんが足を運びたくするような施設になることを願いたい。</p>	<p>・利用者のニーズに沿った「利用される施設」を願う。</p>	<p>・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。</p>

別紙 パブリックコメントにおける意見要旨と今後の対応について

No.	構想（原案） 該当箇所	件数	意見要旨 ※一部原文より修正	要点	意見を踏まえた今後の対応等
7	3-1 将来ビジョン	2件	今後20年後30年後の滝川市の将来を見据えた部分ですが、少し俯瞰的、広域的な視点が必要に思います。中空知の人口が2050年には更に半減し、中核都市滝川市の機能がどうあるべきか。次世代を担う子ども達や若者に目を向けるならば、なぜ今も、若者人口が流出し続けるのか、それを阻止する方法はなんだろうかと想定することが本構想に書かれていない部分が少し残念に思います。	・中核都市 滝川市の機能がどうあるべきか、なぜ若者が流出し続けるのか、そういった想定が必要。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。
8			学生や若者の起業、チャレンジの後押し～とはどのような構想であるのか。滝川市の活性化に向けて、とても大切だと思います。また、高齢者に寄り添った視点も示していただければと考えます	・学生や若者の起業等に関する方針の具体的なものは何か。 ・高齢者に寄り添った視点も示してほしい。	・具体的な取り組みにつきましては、今後、基本計画の策定を進める中で検討してまいります。 ・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。
9	4-2 整備地区における 整備方針	6件	病院・診療所（産科）は、これからの滝川市が安心し安定して発展するために絶対に必要だが、駅前周辺でなくてもよいと思う。	・病院・診療所（産科）の機能については、駅周辺でなくてもよい。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。
10			スーパーマーケットについて誘導を考えられていますが、確かに駅前にはなく高齢化を考えると必要とは思いますが、小規模なものだったりまた宅配サービスもあるなかで本当に需要があるのか考えてほしいと思います。 市内に産科があることは理想ですが医師が確保できるのか少子化の中、長期的にみて運営しているのか疑問に感じます。 現状でも市内の高齢者施設での入居者募集をあちこちで見かけます。これも需要があるのか介護職員をしっかりと確保できるのか考えてほしいと思います。 運動施設については、フィットネスという記述がありますが、すでに市内には2カ所あります。現状の運営状況を把握して、それでもまだ需要があるならば導入しても良いと思いますが、これも良く考えてほしいと思います。	・昨今の情勢を踏まえ、スーパーマーケット、高齢者施設、運動施設は本当に需要があるのか考えるべき。 ・病院・診療所（産科）について、長期的に運営が成り立つものなのか疑問。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。
11			空き店舗の活用について、チャレンジショップとしての活用はもちろん、貸しスペースとして地域で活動する団体の拠点としても活用できるとエリア全体での文化ゾーンとしての位置づけが高まると考えられます。札幌では廃校になった小学校などを活用した貸しスペースがありますが、小規模な団体にとってネックになるのは使用料金でしょうか。	・空き店舗の活用策として、地域団体に対する貸しスペースとしての利用がよいのでは。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。
12			ベルロードの空き店舗を「小売店」「コワーキング」に活用。太郎吉蔵を取り込んで文化ゾーンを形成していけないか。大事な滝川市の文化遺産をぜひ。所有者の件など課題もあるようだが、何とか工夫していけないだろうか。	・空き店舗を「小売店」「コワーキング」に活用できないか。 ・太郎吉蔵を取り込んで文化ゾーンを形成していけないか。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。
13			ウォークブルなまちづくりに向けて駅前にとどまらない再生の方向性を詳しく知りたいです。特に「ベルロード（再生軸）」再生の具体的な取り組み方法や各店舗等とどのように課題をクリアしていくのか、また、旧小林ビルの活用についての将来的なイメージ等。ベルロードそのものの再生・再生について、より具体的に示していただきたいと感じました。	・旧小林ビルの活用やベルロードの再建に向けた具体的な取り組みを示してほしい。	・具体的な取り組みにつきましては、今後、基本計画の策定を進める中で検討してまいります。
14			人の往来を増やす、市外から人を呼び込む方策として市内に点在しているラーメン店をベルロードに移ってもらってラーメンロード化するのはどうですか？ユーチューブにも時々アップされていますが、滝川にはおいしいラーメン屋さんが多いと思います、ベルロードの空き店舗や空き地を利用してはどうですか？実現すればみんなの駐車場ビルも生きてくるのではないのでしょうか。あと、滝川と云えば松尾ジンギスカンです、ラーメンロードとの相乗効果を狙いこのエリアにそんなに大きくなくとも支店を開設してもらえないでしょうか？	・ベルロードをラーメンロード化してはどうか。 ・松尾ジンギスカンの支店を誘致してはどうか。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。
15	4-3 再生拠点における 整備方針	53件	駅前市民駐車場と交流施設の行き来に現在閉鎖されている地下歩道を復活させてはどうですか？	・地下歩道を再整備すべき	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 (拠点形成の基本的な考え方)
16			旧マイルビルと中央バスの間は車道をやめて、コンコースとして人の通路を確保し、駐車場へも横断することをなくすべき。	・栄通を廃止し、一体的な整備をすべき。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 (拠点形成の基本的な考え方)

No.	構想（原案） 該当箇所	件数	意見要旨 ※一部原文より修正	要点	意見を踏まえた今後の対応等
17			「駅前市民駐車場」と「駅前交流施設」の間の市道を無くしてはどうか。位置図によると、駐車場から施設へは道路を横断することになるが、めいめい好きなように渡っていくと思われる。マイルビルが稼働していた時も、駅やバスターミナル方向に好き勝手に横断していた。新施設でも、コンサート終了後には施設を出て駐車場に向かう人が殺到すると思う。そもそも施設（文化ホール）とメイン駐車場との間に道路があるなんて考えられない。施設に子どもや高齢者も集めようとするなら、重大事故が起きてからでは遅い。この路線は、主に函館本線から西に行く車が通行すると思うが、若干遠回りする多少の不便より、交通事故のリスクが増える方が重大。無くすことにより、敷地面積も増えて一石二鳥かと思います。道路の廃止が難しいのなら、一車線一方通行にし、形状をクランク状にするなど減速措置を講ずるなどしてはどうでしょう。（この方法を採用している自治体もあります）	・栄通を廃止若しくは形状を変更し、横断による事故の危険性を回避すべき。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （拠点形成の基本的な考え方）
18			駅前施設の野外スペースはとても気持ちが良いと思います。しかし、「風がみつけた街たきかわ」と言うくらい風が強いまちでもあります。休けいスペースは屋内にも充分取ってもらい、冬でもゆっくり休めると、いつでも行きたい場所になると考えます。また、文化祭を一か所で開催できる様、ロビーは天井を高くして展示しやすく計画して欲しい。誰でも、何もなくても行きたくなる場所であるために広いロビーに椅子とテーブルをいくつも設置し、様々な催しに対応できるような埋設された電気・水まわりも必要です。	・屋外スペースは良いが、屋内にも休憩スペースがあったほうが良い。 ・ロビーは天井を高く、文化祭を一か所で開催できるよう計画してほしい。 ・様々な催し物に対応できるような施設、設備が必要。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （（仮称）駅前交流施設 交流機能）
19			「屋外広場」は不要又は大幅に縮小を。1年の3分の1以上雪に閉ざされる滝川、日本海性気候の影響を受け曇りや雨の日が多い滝川で、「屋外広場」に経費をかけて広いスペースをとる必要はない。その経費を手狭な施設の面積を増やす方にまわしたり、建物の中身を充実させた方が良い。たとえば、ロビーを広くとって開放的なエントランスとし、天候に左右されないイベントスペース（フリーマーケット等）やさまざまな用途に使えるフリースペースにして屋内での広場的な機能を持たせるなど、他の活用をした方が良いと思います。	・「屋外広場」は不要又は大幅に縮小を。 ・屋内に広場的な機能を持たせるなど、他の活用を検討した方が良い。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （（仮称）駅前交流施設 交流機能）
20			屋外広場について、広場を設けることはとても良いことだと思いますが、地域柄冬期間は使用できなくなる時期があり、イベントなどを行う際も天候に大きく左右されるため、それであれば屋内広場の面積を広く設けた方が季節や天候の影響も受けず、活用の幅が広がると思います。旧マイルビルや市役所ロビーのような吹き抜けで明るく広々とした、多くの人が自由に集える空間になることを期待したいです。現にみんくるのフリースペースは学生が勉強をする場として活用してる様子を見かけていますし、この屋内広場もイベントのあるなしに関わらず、学生を含めて幅広い世代の人が訪れる憩いの場のようになるといいですね。 新たな施設にも会議室やスタジオの設置が検討されていますが、近隣にみんくるやく・る・るがあり、将来的に建物の老朽化も想定されるものの、既存の施設の使用頻度を見て、新たに設置の必要性がなければ、その機能を既存施設に置くことによって、新施設の敷地面積を有効活用できるように思われます。同一区画に人の流れを集めるという点ではマイナスになる可能性もありますが、ベルロード周辺一帯を今構想のエリアとして考えているのであれば、一極集中よりは分散することによって商店街への人の流れを作ることもでき、既存施設の駐車スペースも有効活用できると考えます。	・屋外広場は冬季間の制約があるので、屋内広場を広く設けたほうが良い。 ・会議室やスタジオ等については、ベルロード周辺一帯の既存施設との機能分担を検討したほうが良い。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （（仮称）駅前交流施設 交流機能）
21			屋外広場は、降雪積雪期間が長い滝川市で、利用できない時期が発生するのはマイナスだと思う。交流の場として有効活用するためにも、全天候型で電気、水道設備を整える。フリーマーケットやマルシェなど、市民の自由は発想に対応できる機能であるように。ガラス張りで駅前との一体感を作り出す。床面にはタキカワカイギユウの発掘現場を再現してほしい。	・屋外広場は、冬季間のことも踏まえ、全天候型が良い。 ・施設をガラス張りにして、駅前との一体感を創ることが必要。 ・タキカワカイギユウの発掘現場を再現してほしい。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （（仮称）駅前交流施設 交流機能）
22			屋外広場は、雨天・冬期間は使えないので、エントランスとして屋内を充実して外からも見えるガラス張りが良い。気軽に立ち寄れる雰囲気、駅前広場との一体感も感じられる。 会議室・スタジオは、パーテーションで広さを変えられる場所にしてほしい。	・屋外広場は、冬季間のことも踏まえ、屋内を充実すべき。施設をガラス張りにして、駅前との一体感を創ることが必要。 ・会議室等はパーテーションによる空間可変式が望ましい。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （（仮称）駅前交流施設 交流機能）
23			施設のロビーをバス・列車待ちの学生が学習などに使えるよう考慮してはどうですか？	・施設を待合ロビーとして活用できるよう検討してほしい。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （（仮称）駅前交流施設 交流機能）

No.	構想（原案） 該当箇所	件数	意見要旨 ※一部原文より修正	要点	意見を踏まえた今後の対応等
24			<p>原案ではケース1～3のどの案でも、ホールは400～500席のものが1個となっていますが、それに合わせて、以前の「たきかわホール」と同程度規模のホールが必要だと考えます。</p> <p>その理由は、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 原案の500席（できれば700席程度）の大ホールは、今までの文化センターの需要から考えても滝川市にとってなくてはならないものですが、一方、市民の使い勝手から考えると、市民主催のイベントや発表の場、講演会や映画、演劇やパフォーマンスなどの上映・上演の場としては200席程度の小ホールが必要です。 2. スマイルビルが閉館されるまでは1986年から同ビルには「たきかわホール」が存在していて、市民の貴重な表現の発表の場として長く活用されてきました。可動式座席と椅子を並べて200席の小ホールでしたが、その需要は高く、ほぼ連日稼働していたと思います。「たきかわホール」があったからこそ出会えた音楽、絵画や写真、映画や演劇がたくさんありました。ピアノ教室の発表会やアマチュアバンドコンサート、華道や手芸サークルの展示会等々様々なジャンルの表現の発表の場としても広く活用されてきましたが、その施設が無くなり、多くの市民団体は7年経過した現在もおおきな影響を受け、その対応に毎年苦慮しているのが現状です。 3. 小ホールがあれば大ホールでのコンサートや演劇など大きな舞台の展開にとってバックヤードの役割も担うことができます。小・中・高校生の合唱やプラスバンドの発表会など出演者一同が揃う場ではリハーサル室、控室は必ず必要になります。使い勝手の良い小ホールの存在は重要です。 <p>市民が自主的に展開していく市民活動は地域の大きな力、まちの財産ともなります。使い勝手の良い小ホールは、その拠点として、市民がみんなで育てていく場になると思います。滝川市が将来ビジョンに掲げている「行きたい・住みたいエリアに転換し 豊かな生活シーンを創出する」という素敵な目標を実現するためにも、駅前交流施設内に「たきかわホール」規模の小ホールの建設は不可欠と考えます</p>	<p>・小ホールが必要。</p>	<p>・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （（仮称）駅前交流施設 文化機能）</p>
25			<p>150～200人キャパの小ホールを是非とも作って欲しい。今ある所で天井が高く、椅子が常設されている場所がありません。会議室だけだとスクリーンが貼れませんが、客の頭が気になって見にくい。多目的小ホールをお願いします。</p>	<p>・小ホールが必要。（多目的）</p>	<p>・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （（仮称）駅前交流施設 文化機能）</p>
26			<p>「小ホール」が入っていないのはなぜか。ぜひ必要。大ホールを使用するのは、有名歌手のコンサートや学校や滝川の吹奏楽演奏会、赤い羽根歌謡大会、市民文化祭の芸能発表くらい。多くのサークルや団体が使い必要とするのは100～200席くらいの小ホール。上映会はもちろん、文化連盟加盟団体の発表会や市内の音楽グループのコンサート、落語会、演劇なども、キャパがちょうど良くて使い勝手がいいのは小ホール。ちょっとしたシンポジウムや企業のレセプション、講演会などにもちょうど良い大きさ。そして、映画上映ができる映像設備も必要。加えて重要なのは、座席は平面ではなく、段々の階段状となる可動席にする。そうするとフラット利用もできて、より用途が広がる。ステージを観客席側から見る客の立場に立つと、催しで座席が平面というのはありえないです。旧スマイルビル3階にあった「たきかわホール」のようなホールを強く望みます。かつて、「たきかわホール」や「太郎吉蔵」「総合福祉センター」が利用されていた時のことを思い起こしてみてください。※「たきかわホール」に眠っている機材や設備の移転・再利用は不可？ 特に、途中で改良した音響関係はそんなに古くはないのでまだ使えるのでは？ 新ホールとサイズが同じなら使えるという話も聞きましたが、「大ホール」は施設の“顔”とはなりませんが、“胆（きも）”は「小ホール」です。実質的な主役は「小ホール」です。</p>	<p>・小ホールが必要。</p>	<p>・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （（仮称）駅前交流施設 文化機能）</p>
27			<p>滝川駅は札幌・旭川どちらの方面からもアクセスしやすいため、駅前にホールができると、イベント開催時にはとても利便性が高く、市外から来られる方にも喜ばれると思います。一方で、ホールの他にも、ライブハウスのような小規模なイベントホールもあるとなお嬉しいですね。集客人数はホールほど多くないながらも地方を回るアーティスト向けに貸し出しする以外にも、1番は、地元のアーティストやバンド、劇団などが世代を問わず演奏や演劇等の発表に利用しやすい場所があることで、地域の文化・芸術活動の促進・発展に繋がればよいなと思います。</p>	<p>・小規模なイベントホールが必要。</p>	<p>・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （（仮称）駅前交流施設 文化機能）</p>
28			<p>子供から大人までが使用出来る音楽ホールを希望します。</p> <p>近隣市町村が持っている席数より、多い数の席数を持つことでオーケストラ等の演奏会が開催出来るのではないかと思います。また、市内の小中高校の音楽発表会を行えるようになると、子供の情操教育にもいい影響があると考えます。「風がみつめた街たきかわ」の音楽祭や滝川の活動、市内小中高校の音楽を楽しむ生徒がこの町で音楽をやっている良かったなあと思え、この子供が大人になり帰省した時には「滝川にはこんないいホールがあるだ」と自慢出来るホール建設を願います。</p>	<p>・子供から大人が利用できるホールが良い。 ・近隣市町のホールよりも多い座席数のほうが良い。 ・将来自慢のできるホール建設を願う。</p>	<p>・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （（仮称）駅前交流施設 文化機能）</p>

No.	構想（原案） 該当箇所	件数	意見要旨 ※一部原文より修正	要点	意見を踏まえた今後の対応等
29			<p>ホール機能について、収容人数が旧文化センターを大幅に下回る規模のもので計画されていますが、メインのホールとしての位置づけで考えると十分な規模のものなのか疑問があります。人口は減少傾向にありますし、予算や敷地面積の都合もあると思われますが、近隣の町（砂川のゆうで最大500名、深川のみ・らいで691名）と比較しても中空知の中核都市にあるホールとしては規模が小さく思えます。利用が見込まれる文化団体等への調査もされた上での計画だと想定されますが、利用者のニーズに応じた使い勝手の良いホールになることを望みたいです。</p> <p>今回の構想ではメインのホール以外に小ホールを併設する計画が無いようですが、可能であれば旧たきかわホールくらいの規模のホールがあると、使い勝手も良く利用頻度が一層高まると思われます。市内には学生を含めて様々な活動を行う団体がありますが、規模の小さな団体にとって発表の場としてホールを使用したくても会場使用料が大きな負担になることが想定されます。入場料を徴収するにも、この地域では1,000円程度が集客を望める額だと思われますし、多くの団体が利用しやすいリーズナブルな料金設定の小規模なホールは不可欠かと考えられます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホール機能について、十分な規模なのか。 ・利用者のニーズに応じたホールを望む。 ・リーズナブルな料金設定の小ホール併設が望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。（（仮称）駅前交流施設 文化機能）
30			<p>「多様な交流を生む核となる施設」であるならば、大ホールのほかに多機能に活用できる小ホールが必要ではないか。大ホールは滝吹や小中高吹奏楽団体、アートステージ空知など多くの座席を必要とする団体に欠かせない。しかし、多様な交流を促すなら小ホールを可動式の椅子にして天井の高さを確保し、利用料金を抑えて幅広い年代に活用してもらえる小ホールが必要。旧スマイルビル跡地に、大小ホール、そこに必要な楽屋やリハーサル室、楽器や大道具を保管するスペースなどをとる。構想を盛り込むには2階建てでは足りない。1～4階建てにして。入口からフラットにホールに入れると、車いすでも移動がしやすい。洪水のハザードマップで浸水地域に該当する駅前周辺なので、ホールは2階以上が望ましいと思う。</p> <p>【大ホール】 規模800席程度</p> <ol style="list-style-type: none"> ①滝川で想定される最大規模に合わせたスペース。市民文化祭、小中高音楽発表会、アートステージ公演、バレエや一輪車の発表、全道規模の各種研究大会など。 ②固定席 ③音の響きの良いホール～音楽、演劇、芸能発表など多目的に使用しながらもそれぞれにベストな環境を探してほしい。 ④ステージの広さは旧文化センター程度。高さは深川みらい程度が良い。 ⑤ステージは「大切に使うが自由に使わせる」～例えば、床板はくぎ打ちにも対応できるなど消耗品として対応する。ただし、大きな破損は弁償責任を利用者が負うことを明確にしておく。 ⑥パーティション。袋戸に収納。使用規模を替えられるので利用範囲が広がる。 ⑦花道は旧文化センター程度で。役者の導線確保。 ⑧袖は広めに。 ⑨バックヤードはステージと同じ広さで。 ⑩道具や楽器の保管場所。道具の移動線や高さを確保する。 ⑪客席会場後方に音響スペースを常設する。個室のブースはいらない。 ⑫会場内に照明スペースを常設する。個室のブースはいらない。 ⑬車いす席は会場全体に散らして設置。希望する場所から鑑賞できるように。 ⑭聴覚障がい者への対応。 ⑮視覚障がい者への対応。 ⑯親子室や障がいによって利用できる個室の設置。 <p>【小ホール】 規模200席程度</p> <ol style="list-style-type: none"> ①多目的に利用することを目的とした構造。各文化芸術団体やダンスグループの発表、演劇小公演、映画サークル、おやこ劇場、手作りマルシェ、フリーマーケットなど。 ②可動式いすでフラットになる床面 ③スクリーンやプロジェクターの設置 ④電源水道設備 ⑤天井を高く。書道など高さがいるようなもののギャラリーにもなる。 ⑥照明、音響は大ホールと同程度。 ⑦旧滝川ホールのスタイルがよい。 ⑧車いす利用者への対応。 ⑨聴覚障がい者への対応。 ⑩視覚障がい者への対応。 <p>【楽屋など】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①楽屋は楽屋としてのみ使用。会議室を兼ねることはしない。 ②大小ホールで兼用可能な配置 ③シャワールームの設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・小ホールが必要。（多機能） ・洪水のハザードマップで浸水地域に該当するため、ホールは2階以上が望ましい。 ・大ホールは規模800席程度、小ホールは規模200席程度が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。（（仮称）駅前交流施設 文化機能）

No.	構想（原案） 該当箇所	件数	意見要旨 ※一部原文より修正	要点	意見を踏まえた今後の対応等
			<p>④多目的トイレの設置 ⑤給湯室の設置 ⑥洗濯機の設置</p> <p>【文化ホールのエントランス】</p> <p>①居心地の良い場所。屋外交流広場をエントランスに取り込んで、公共交通機関を利用する人の時間待ちや子どもたちの交流の場所を兼ねる。 ②カフェの設置やミニライブができるように電源や水道の確保 ③天井の高さを確保することで、文化祭の展示会場に利用できる。 ④出入口を広く高く取り、前面からの搬入口としても使えるようにする。 ⑤テーブルといすを設置し、鑑賞後に観客同士でコミュニケーションが取れる。 ⑥車いす席利用者への配慮。 ⑦聴覚障がい者への対応。 ⑧視覚障がい者への対応。 ⑨明るく、外からもわかるようにガラス張り。 ⑩外から入口へと誘導しエントランスへと入っていく流れを作り出す。カイギウの発掘現場を再現するなど。 ⑪カイギウや菜の花など、滝川らしさをレイアウトする。 ⑫コインロッカーの設置</p> <p>【運営】</p> <p>①ホール利用は、興業3割、市民利用が7割と考えると、「市民が使える」を最優先に考える。 ②公設民営 ③市民の減免措置は必須 ④建設期間中から運営する人の育成を進め、市民にとって利用しやすい駅前周辺としてほしい。結局動かすのは人だと思うから。</p> <p>【その他】</p> <p>①すべてバリアフリー ②スタジオ、練習室。 ③高校生や小グループで利用しやすい料金設定。 ④トイレは女性用の数を多くするなど、多目的トレイも含め配慮した設置を工夫する。 ⑤トイレには、男女多目的のどこにもおむつ替え台の設置。 ⑥授乳室はだれでも入りやすい雰囲気、すべて個室にする。 ⑦終演後の移動の足を確保するため、コミュニティバスの運行 ⑧緞帳はいらない。 ⑨冬でも使える施設</p>		
31			<p>ホールコンサートが幅広く行えるよう、ホールは1,000数百人規模の大ホールが必要と思う。(文化向上になる)</p>	<p>・千数百人規模の大ホールが必要。</p>	<p>・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 ((仮称) 駅前交流施設 文化機能)</p>
32			<p>ホールは、大ホールと小ホールの設置を望む!!大ホールは、市内小中学校の音楽発表会、小中高校吹奏楽部の定演、市民文化を発信しているアートステージの例会などを考えると800席は欲しい。(固定席)</p> <p>小ホールは、旧スマイルビル「たきかわホール」がとても使いやすかったので、200席の可動席が欲しい。所属するおやこ劇場の例会でサーカスやコンサート、舞台劇などジャンルをとわず使える高さもあり、椅子、平土間どちらにもなる小ホールを望む。ホールエントランスを広くとり、市民の交流の場となると嬉しい。</p>	<p>・大ホールと小ホールの設置を希望。(大ホール800席の固定席、小ホールは200席の可動席)</p>	<p>・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 ((仮称) 駅前交流施設 文化機能)</p>
33			<p>常設美術館が必要。滝川市が誇る画家「岩橋英遠」「一木万寿三」や書家など、いつ滝川を訪れても鑑賞できる場所があることは、外から見学に来る観光客の誘致にもなるが、何より滝川の子どもの故郷への想いを育てることもつながる。ぜひ常設展示をしてほしい。旧スマイルビル跡地では、大小ホールとそれに伴う施設で足りないくらいだと思うので、小林ビルやトピアビル跡地に教育文化機能を集約。</p>	<p>・常設の美術館が必要。 ・旧トピア、旧小林ビルに教育文化機能を集約したほうが良い。</p>	<p>・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 ((仮称) 駅前交流施設 教育文化機能)</p>
34			<p>ギャラリーは、ロビー壁面ではなく、展示室として設置し、独立した静かな空間で鑑賞できると良い。</p>	<p>・展示室の設置を希望。</p>	<p>・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 ((仮称) 駅前交流施設 教育文化機能)</p>
35			<p>屋内遊戯施設はほとんど利用者に寄り添って子育て世代の支援となる施設に。多様な利用形態に対応するために、人的配置を考慮する。特に学童保育以降の時間帯で滝川に住む子どもたちひとり</p>	<p>・屋内遊戯施設の設置にあたっては、ハード面のみならず人的配置も配慮すべき。</p>	<p>・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 ((仮称) 駅前交流施設 娯楽機能)</p>

別紙 パブリックコメントにおける意見要旨と今後の対応について

No.	構想（原案） 該当箇所	件数	意見要旨 ※一部原文より修正	要点	意見を踏まえた今後の対応等
			一人にきめ細かく対応できる施設であるべき。ハード面だけでなく人的配置にも十分な配慮をしてほしい。		
36			屋内遊戯施設を作るのであれば、遊具は吟味して、必要最低限でいいと思う。無人では無く、人の配置も考えて欲しい。授乳室もほしい。	・屋内遊戯施設の遊具は最低限でよいが、有人の施設として検討してほしい。 ・授乳室の設置を希望。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （（仮称）駅前交流施設 娯楽機能）
37			スマイルビル内にあったボウリング場を施設内に復活させてはどうですか？昔は職場でボウリング大会を開き、その後みんなで夜の街に繰り出したことも幾度となくありました、今は職場や団体の親睦に使えるような場所がありません。また近隣にボウリング場が少ないので市外から人を呼び込めるのでは？	・ボウリング場の再開を希望	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （（仮称）駅前交流施設 娯楽機能）
38			健康機能に「スポーツジム」とありますが、唐突感があり必要な機能とは思えません。最近市内に次々とオープンしており、公共施設として造ることは民業圧迫になると思います。	・健康機能のスポーツジムは必要な機能と思えない。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （（仮称）駅前交流施設 健康機能）
39			スポーツジムは滝の川スポセンエリアに集約でよいのではないか。滝川市内でも民間のフィットネスクラブやパーソナルジムが増えてきているので、民間に任せて、駅前周辺に入れなくてもよいと思う。	・スポーツジムは滝の川スポーツセンターエリアに集約し、駅周辺地区には不要。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （（仮称）駅前交流施設 健康機能）
40			スポーツジムは必要ないのでは？”スコール”があるので。	・スポーツジムは必要な機能と思えない。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （（仮称）駅前交流施設 健康機能）
41			駅前交流施設の中にコンビニを設置してほしいです。（セイコーマート希望）駅・バス利用者の利用も考慮して施設内の駅に近い部分に設置してほしいです。	・コンビニの設置を希望。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （（仮称）駅前交流施設 商業機能）
42			場所柄、通学・通勤者がひと息つけられるように簡単（簡易的）なカフェも欲しいです。	・通学、通勤者が利用するカフェの設置を希望。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （（仮称）駅前交流施設 商業機能）
43			滝川駅を利用するにあたり、最も不便に感じていることは『駅前にコンビニエンスストアがないこと』です。乗車する際に食べるものや読むものを買ったり、お金を引き出したりする場所がないことに困っています。土地感があれば、栄町のセブンイレブンや本町のセイコーマートを利用することもできますが、駅からは少々歩くことになりまして、土地感のない方はさらに不便に感じられるのではないかと思います。旧スマイルビルや旧トピアビルの位置にあればとても便利ですし、私もぜひ利用したいです。観光目的で滝川にいらっしゃる方のほか、通勤・通学などで日常的に駅を利用される方にとっても便利に感じられるのではないかと思います。	・コンビニの設置を希望。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （（仮称）駅前交流施設 商業機能）
44			コンビニを駅構内に。	・コンビニの設置を希望。（駅構内）	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （（仮称）駅前交流施設 商業機能）
45			コンビニ1個だけでもいいので作ってほしい。	・コンビニの設置を希望。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （（仮称）駅前交流施設 商業機能）
46			カフェ・売店を望む	・カフェ、売店の設置を希望。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （（仮称）駅前交流施設 商業機能）
47			たきかわカイギウや人石に関係するものを想像させる工夫をして、地元たきかわの歴史を誰でも知ったり感じたりできる施設にして欲しいです。お金をかけないでもできることを広く市内外に問う姿勢も必要と思います。	・地元たきかわの歴史を感じることができる施設を希望。 ・低コストで実現できる整備アイデアを募ることが必要。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （（仮称）駅前交流施設 その他）
48			高校生の頃は、駅前にミスタードーナツやケンタッキーフライドチキンがあり、そこで市外から通学する（滝川駅や当時のバスターミナルを利用する）友人と学校帰りに雑談したり、勉強したりしていました。また、歌屋やスマイルビルのゲームセンター、ボウリング場で遊んだりもしていました。日常的に滝川駅を利用する方の中には、市外から滝川高校や滝川西高校へ通学する方の割合も多いのではないかと思います。現在のまたはこれからの学生にとっても、そういった雑談や勉強ができる飲食店が施設、娯楽施設など学生にとってのコミュニケーションの場があればいいなと思います。また、コンビニエンスストアなど、比較的朝早く夜遅い時間帯まで営業している小売店や（ファストフードのような）飲食店、賃貸住宅、駅やバスの利用に適した駐車場、発車まで時間があったり、急な運休が発生したりした際に仕事ができるようなテレワークスポットや勉強場所などが駅前に充実すると、滝川駅が通勤・通学により便利な場所になるのではないかと思います。	・雑談、勉強等といったコミュニケーションの場が必要。 ・コンビニやファストフード店、テレワークスポット等が充実した場所があると良い。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （（仮称）駅前交流施設 その他）
49			滝川駅周辺地区の限られたスペースなので、「交流」「文化」に絞って市民が利用しやすい形を創り上げていくほうが良いのではと思う。	・限られたスペースのため、導入機能を交流と文化に絞ったほうが良い。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （（仮称）駅前交流施設 その他）

No.	構想（原案） 該当箇所	件数	意見要旨 ※一部原文より修正	要点	意見を踏まえた今後の対応等
50			コインロッカーを望む。また、防犯のため、全体的に死角を作らないような配置を考えて欲しい。	・コインロッカーの設置を希望。 ・防犯性の高い施設配置を検討してほしい。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （（仮称）駅前交流施設 その他）
51			各世代の“第三の居場所”に障がい者の視点がない。障がいを持った人に配慮した施設はそのほかのすべての人にやさしい施設になります。すべての項目の中で障がい者視点を盛り込んで人にやさしい施設を目指してほしい。 障がいをもった人たちも一緒に交流できる施設であるべきという視点が感じられない。その視点なくして「多様な交流を生む核となる施設」にはならないと思います。	・障がい者視点を盛り込んだ整備としてほしい。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （（仮称）駅前交流施設 その他）
52			駐車場の問題ですが今の台数だとイベントがある場合、不足し路上駐車が多くなり、周辺住民にも迷惑がかかると思いますので、駐車台数を増やして欲しいと希望します。	・もっと駐車台数を増やすべき。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （（仮称）駅前市民駐車場）
53			旧トピアビルについて、小売店等を考えているようですが、よほど魅力があり集客力があるものでなければ収益は上がらないと思います。そうでなければわざわざ向かい側に渡ってまで行ってみたいとは思わないですし、そうなると今のペルロード、三楽街の空き店舗を再びつくることにもつながりかねないと思います。若者、観光客、他市への通勤者等を考えればコンビニはどうか。私の子どもたちに駅前であれば良いものを聞いたところ、全員コンビニという答えでした。	・よほど魅力と集客力がなければ小売店等は厳しい。コンビニが望ましい。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （旧トピアビル整備）
54			旧トピアビルを解体して3階建て程度のビジネスホテルが出来れば良いと思います。現在市内で営業しているホテル・旅館に移ってもらうのが良いと思います。	・ビジネスホテルの誘致が良いと思う。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （旧トピアビル整備）
55			トピアビル跡地に会議室やスタジオ、練習室などを設置。	・会議室やスタジオ、練習室等の設置を希望。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （旧トピアビル整備）
56			「公設民営」が良いと思います（その中でDBO方式が良いかはわかりません）。しかし、どんな手法をとるにせよ前提として大事なことがあります。施設は完成した時がスタートなので、運営スタッフの質が重要です。まず、舞台と音響の専門家は絶対必要です。この専門家は設計段階から必要です。当然施工業者にもこの道のプロはいるでしょうが、こちら側にも必要です。舞台や音響の良し悪しの評判は、使われていくにつれて広がっていき、良い評判は大ホールひいては施設全体の“売り”となっていきます。だから、建物（ホール）ができてしまってからでは遅いです。また、事業やイベントを企画するプロも必要です。ホールや部屋はいつも埋まっているわけではないので、自主事業などを展開して人を呼び寄せることが大切ですが、その采配をとることのできるスキルを持った人が必要です。 いろいろ書きましたが、要は生かすも殺すも“人材”しだいです。単なる施設の“管理人”ではいけません。せっかくの施設を、宝の持ち腐れにたくはありません。砂川の「ゆう」のように、ヘッドハンティングしてでも行うべきことと思います。	・事業手法は公設民営とすべき。施設整備や運営に関しても精通者（専門家）の登用が必要。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （事業手法）
57			滝川駅周辺地区再生整備基本構想（原案）に基づき、駅周辺地区再生整備基本計画策定時にご検討いただきたい具体的な目的とその実現に資する事業手法に関して以下のとおりご提案申し上げます。 駅周辺地区再生整備の目的と事業手法について はじめに 人口減少が進む中、多くの地方自治体が将来的な行政経営に不安を抱く時代になっています。このような中、滝川市は既存の公共施設の廃止や統合を進めながら新たな公共施設の建設を計画しています。そこで、このような背景から駅周辺地区再生整備の基本計画策定については従来型の行政が行う施設等建設ではない新たなPPPの検討を行っていただきたいと考えています。 当然、検討結果によってはこの手法が採用できるとは限りませんが、あえて言えば以下に述べる事業を行った紫波町にはできても滝川市にはできないという可能性の方が高いと思います。しかし、十分な検討を行うことなく新施設等の建設が行われる事は現代の自治体経営としてはいかなものかとも考えます。スケジュール的な問題があることは十分に理解しており、一方ご担当の方々にはすでに本事例を十分に調査検討されていることとも思いますが、持続可能な自治体経営の一助となるような様々な検討を行った上で、新施設等を建設して頂くことを心からお願い申し上げ、僭越ながら以下にご提案させていただきます。 1. 駅周辺地区再生整備の目的 (1) 駅周辺の賑わい創出 (2) 駅周辺のエリア価値（不動産価値）の向上 (3) 駅周辺からの地域内経済の振興 2. 駅周辺地区再生整備の事業手法	・事業手法については、エージェント型PPP手法に関する検討が必要。	・今後の計画策定等の参考とさせていただきます。 （事業手法）

No.	構想（原案） 該当箇所	件数	意見要旨 ※一部原文より修正	要点	意見を踏まえた今後の対応等
			<p>駅周辺地区再生整備の事業手法については、岩手県紫波町のオガールで取り組まれたエージェント型PPP手法に関する検討が必要であると考えます。従来型の公設施設の指定管理やPFIではコストを改善しながら行政事務を民間に代行してもらうという歳出面を中心としたPPPにとどまってしまう、これでは持続可能な公共施設にはなりえない可能性が高いと思います。そこで、既存の行政事務では実行できない内容を民間に委ね、地域内経済循環の振興や公共サービスの質的な向上を実現していく新たなPPPが求められています。例えば、民間が一定の収益を得ることができる施設計画を組み立て、その収益から事業費の一部をねん出するような持続可能な事業スキームの検討が必要になります。</p> <p>3. 具体的な取組手法</p> <p>(1) 行政は民間に公共施設の企画、設計、施工を委ねます。</p> <p>(2) 行政から委ねられた民間は、公共施設の企画、設計、施工のみならず、施設の集客力によりテナント誘致を企画し、その事業を自立して運営します。さらに、民間が建設した公共施設は行政に売却します。これによりこの地域のエリア価値を上げることに資すると考えます。</p> <p>(3) 民間は事業で得た利益を、更に事業を興しその利益を再投資し、行政は民間から購入した公共施設で多くの催しもの等を企画し集客の拡大を図ります。これにより継続的に賑わいを創出し、域内経済を持続的に回すことが可能になると考えます。</p> <p>(4) 行政主導のプロジェクトでは補助金があるため、施設を建設することはできても、本来、一番力を入れなければならない完成後の運営や収益確保が蔑ろになることが数多くあります。だからこそ、活性化事業には銀行（金融機関）から融資を受けることが必要です。なぜなら、銀行という外部の厳しい目で事業が審査されることが重要だからです。紫波町のオガールでは、民間都市開発推進機構の出資によって地元金融機関からの融資を引き出しました。テナントもほとんど地元資本で、名実ともに域内経済を活性化する事業として成り立っています。</p> <p>(5) 誘致したいテナントに支払える賃料を尋ねてから、その賃料でも黒字になるように施設全体を設計します。従来は建物等の設計が先になりますが、それでは入居してほしい地元のテナントがいても賃貸料等のコストが合わなければ持続可能な経営はできません。開発側もテナント側もwinwinになるような検討が必要だと考えます。</p> <p>4. 事業実施のかなめ</p> <p>エージェント型PPP手法は民間に委ねるといっても、どこでもいいという話ではなく、行政が組む相手は、地域内の「覚悟を持ち、自立して稼げる民間」でなくてはなりません。</p> <p>また、この手法では、行政が民間に予算をつけて業務を委託するのではなく、行政はその意思決定の基本を民間に委ねます。その代わりに、民間事業者は、金融機関と向き合って市中から資金を調達することを基本とします。</p> <p>行政と連携することはプロジェクトへの参画であり、民間は、あくまで自立し、行政に頼らず資金調達し、事業を構築していくことが求められます。行政はそのような自立した民間事業者を地域内に見出し、パートナーシップを構築していかなくてはならないのです。</p> <p>つまり仕様に沿って予算の範囲で従順に仕事するような民間事業者ではなく、従来、行政が付き合ってきたような、全く異なる自立した民間とタッグを組む必要があるのです。この時、民間の稼ぐ取り組みに対して、途中で行政側が中途半端に介入したりすれば、稼ぐ公民連携は成立しません。「民間を助けることが大切だ」という視点そのものがここでは間違いで、互いがフェアな関係のもとにそれぞれ自立しなければならないと考えます。</p> <p>5. エリア価値の向上</p> <p>エリア価値の向上には消費活動を目的としない訪問者を増やすことが必要であり、公共施設はその役割を担っています。良質で魅力的な公共空間や各種装置により、各世代の人々が居心地が良いと感じる「第三の居場所」を創出することができれば、エリアを含めて各種商業サービスは自然と発生し、さらにエリアに活気や賑わいが生まれます。エリアに賑わいが生まれることで不動産の価値は向上し、エリア全体の価値が上昇することになると考えます。</p> <p>この良質で魅力的な公共空間や各種装置の企画検討は民間事業者が市民参加等の手法により調査検討を行い、あくまでビジネススペースでの集客措置として持続可能な仕様を検討しなければならないと考えています。</p>		
③	基本構想に反映しなかったもの（質疑、その他の意見等）	9件			
58	3-1 将来ビジョン	1件	「住みたい」場所とするには洪水のハザードマップを見ても心配。積極的に住みたい場所として進めることには疑問がある。	・防災視点上、積極的に居住を推進する地区なのか。	・滝川駅周辺地区については、滝川市立地適正化計画において、防災・減災対策を整理する中で、重点的に居住を誘導するエリアとして位置づけております。
59	3-2 取組の展開方針	1件	本事業が若者にとって第3の居場所ではなく、第1の居場所として機能することを期待します。2050年に中空知の高校はどのような配置になっているのでしょうか。統廃合で存続しても部活の無	・「第3の居場所」ではなく、「第1の居場所」としての機能を期待し、駅前にホール機能	・本基本構想における取組の展開方針については、滝川市総合計画や滝

No.	構想（原案） 該当箇所	件数	意見要旨 ※一部原文より修正	要点	意見を踏まえた今後の対応等
			<p>い、薄暗い青春を過ごす小規模校、地域を愛する若者を育むなどとは、とても言えませんので、次世代を担う若者の流出に拍車がかかります。（現在でも滝川西高校と工業高校の進学率が高まり、地元就職希望者はゼロに向かっているのはご存じだと思います）</p> <p>私は交通結節機能を活かした駅前にある高校がメインの新機能の整備を提案します。沼田、芦別、美唄、更には札幌や旭川などからも通える滝川西高校の駅前への移転が多くの市民、地域経済に喜ばれる施策であるように思います。また取り入れなければならない導入機能である文化機能のホールについては、札幌にある藤女子を参考にして欲しいと思います。藤女子校舎のメインの建物の中にあり、私も2回くらい入ったことがあります。女子高、女子大のためセキュリティ上、一般開放しておりませんが、校舎と一体となっておりますので、集客に困っている様々な市民の文化活動団体が、地域の高校生と直に接することが出来、通学生からのSNS等でもPR出来るものと期待します。このような高校があれば、日々固定的な日中の滞在数字の交流人口が発生し、滞在サービス機能が自ずと生まれてくると思います。（滞在サービス機能が一番厳しいハードルだと思います。欲しい項目であるコンビニは校舎敷地内にあるとすれば可能性大）</p> <p>事業手法について官民協働によるまちづくりについて賛成です。DBO・PFI方式で整備することが望ましいと思います。これからは益々厳しくなる人材確保、中空知地域の課題である若者の流出に困っている企業・団体が多いのは周知の事実です。よって自らの資金や創意工夫で人材を育成することをコンセプトに、まったく新しい滝川駅前高校を創造することが出来るならば、地域にとどまらず道内企業の出資が可能だと思います。それには、滝川工業高校、新十津川農業高校との統廃合を見据えた民間主導の高校運営。イメージは海陽学園（全寮制は必要ありません）です。既存レールの道立高校再編では地域経済の衰退は必須です。また技能実習・外国人特定技能者向けの日本語学校も休日の空き教室を利用しながらJR滝川駅前を武器に取り組めるようにも思います。（運転免許証の無い技能実習生に選ばれる地域になる条件整備が必要不可欠な時を迎えました）</p> <p>いつか、既存の芦別や深川も高校の存続が危ぶまれるときがきます。この地域の企業経営者は必ずこれに理解してもらえるものと思います。他の自治体首長は反対するかもしれませんが、これから起こる人手不足による廃業倒産時代を迎え、経済界は待たなしですので協力は得られやすいと思います。高校再編を踏まえた可能性や突拍子もない投稿であり、駅前再生完成へのスケジュールが一見、見通せなくなるように感じると思います。しかし、先例事例である名寄や岩見沢のように地元自治体である滝川市が道教委から言われる前に、西高と工業高校の高校再編を提案したならば、スピードが速まるように思いますし、老朽化著しい江陵中学校の工業高校への移転などの可能性があるならば、道教委も渡りに船のように思いますがいかがでしょうか。本事業については、多くの方々が携わり完成を楽しみにすることを本事業の目的のひとつに掲げることになれば、事業計画から資金調達まで、ちょうどいい田舎事業の第1弾として、きっと、おもしろいものが生まれ、ワクワク感のある大事業になるように思います。</p>	<p>を組み込んだ高校をメインとする整備を提案する。また、その事業手法については、DBO、PFIが望ましい。</p>	<p>川市立地適正化計画が目指すまちづくりを踏まえ設定していることから、駅前の機能として高校等の整備は想定しておりません。</p>
60	4-3 再生拠点における 整備方針	1件	<p>旧トピアビルの中に交流機能として「ポケットパーク」とありますが、何なのかわかりません。必要なものなのでしょうか。</p>	<p>・ポケットパークがわからない。</p>	<p>・ポケットパークとは、通勤、通学時における休憩や地域の皆様の憩いの場として利用いただける小規模な広場となります。</p>
61	その他意見	6件	<p>美術自然史館について～将来的に廃止の方向と聞く同館だが、駅前交流施設に移転するのか明確になっていない。基本構想に〈教育文化機能〉「ギャラリー」と記載があるが、これをもって移転先とするのか。収蔵庫的なものもないようにみえるが、中途半端なものなら移転しないで、今の建物を使い続けた方が良くと思う。令和6年度予算で、空調設備の予算もついたことなので、だましまし使えばまだ20年はもつのでは。滝川が誇る岩橋英遠画伯の遺産を無駄にするようなことがあってはならないと思います。</p>	<p>・美術自然史館の機能を移転するのか。中途半端な移転はしないほうが良い。</p>	<p>・美術自然史館を含む文化施設複合化事業については、滝川市公共施設個別施設計画において令和6年度も引き続き検討を進めることとなっており、担当所管と連携を図る中で、基本計画等の策定を進めてまいります。</p>
62			<p>他市町のように、議員のみなさんとの意見交換・交流ができる場があると、市民の皆さんも自分事としてまちづくりに参加できるのではと思います。</p>	<p>・市議会議員との意見交換、交流の機会があると良い。</p>	<p>・今後のまちづくりの参考とさせていただきます。（その他に対する意見）</p>
63			<p>既存の美術館をぜひ残して欲しい。駅前からベルロード、美術館までをつなぐ道を徒歩で案内できるようなルートとして整備するのはどうでしょうか？</p>	<p>・美術自然史館を存続し、駅前整備と連携して取り組んではどうか。</p>	<p>・今後のまちづくりの参考とさせていただきます。（その他に対する意見）</p>
64			<p>JR滝川駅の交通結節機能については、市内路線バス廃止と一体となって考慮する必要があるように思いますし、本事業にこの言葉を多用すると市民の理解を得ることが難しくなると思います。どのような市民がバスを利用しているのか、どこに行きたいのか、どのように利用したいのか。（滝川駅が目的地という利用者は僅かだと思います。）このニーズを無視したから市民が利用しないバス路線となり廃止になったと思います。バスを利用する多くの市民は、今後も増え続ける免許返納者です。その方たちの行先目的地の多くは市立病院と買い物などのスーパーです。そこを行先表示及び発着場（ターミナル）にするバスの運行を多くの市民が望んでいたと思います。一方で、市立病院や東町のスーパーの前にバス停がありますが、冬でも座って暖かくバスを待てる場所が生まれ</p>	<p>・駅前を路線バスのバス停として位置づけを変更してはどうか。</p>	<p>・今後のまちづくりの参考とさせていただきます。（その他に対する意見）</p>

別紙 パブリックコメントにおける意見要旨と今後の対応について

No.	構想（原案） 該当箇所	件数	意見要旨 ※一部原文より修正	要点	意見を踏まえた今後の対応等
			<p>ていると思います。雪が降る寒空に遅れるバスを待つ免許返納者、病院前で風邪をひいて寒気がするけど遅れるバスを待つ免許返納者。路線バス廃止後、交通結節機能という言葉に不信感を抱かれるのではと危惧いたします。また、近隣市町の住民にも歓迎されるようにバス運営を担うことは、中核都市滝川の担いです。まずは、今の駅前バス停という位置づけにしてはどうでしょうか。旭川や岩見沢のイオンには路線バスの発着所があります。そこと同じ機能を民間資金で持たせることを含めて、俯瞰的に波及効果も含めて本事業に取り組まれることを熱望いたします。</p>		
65			<p>バス減便、タクシー運転手不足など交通面での活性化は難しいことのように感じていますがどのような見込み・見通しであるのか。</p>	<p>・人手不足等もあり、交通機能の活性化は難しいと思うがどのような見通しか。</p>	<p>・公共交通を取り巻く課題は様々あり、一概に今後見直しをお示しできるものではありませんが、生活に必要な機能や交通ネットワークの維持、確保を図るためにも、まちの玄関口でもある“駅前”のイメージ転換に向けて取り組んでまいります。</p>
66			<p>滝の川スポセン付近を陸上競技場も含めジョギングやスポーツジムを取り込んだ健康増進エリアにしてはどうか。</p>	<p>・スポーツセンター周辺を健康増進エリアにしてはどうか。</p>	<p>・今後のまちづくりの参考とさせていただきます。 (その他に対する意見)</p>